

滋賀県 知事選

近藤まなぶ氏が善戦

市民がつくる滋賀県政の会



県議補選 大津市区（定数1）



きのせ明子候補が健闘

きのせ明子候補は議席を獲得できず残念でしたが、2万2千777票（得票率21.13%）を獲得。昨年の衆院比例票の1.6倍、得票率でも2倍以上伸び、大津市での「市民と野党の共闘」発展につながる結果をつくりました。

▲小坂淑子さんの激励にこたえ挨拶するきのせ明子氏
24日・きのせ事務所

大津市区県議補選 得票数と得票率

候補者	党派	得票	得票率
きのせ明子	共産党	22,777	21.1%
当 桑野ひとし	自民党	45,711	42.4%
かわい昭成	無所属	39,325	36.47%



▶ 支援に感謝し今後の決意を語る近藤まなぶ氏

滋賀県知事選挙 得票数と得票率

近藤まなぶ 77,213 16.99%
日本共産党推薦

三日月大造 377,132 83.01%
支援=自民、公明、国民民主。社民党支持

《期日前投票者数》 現職陣営の動員の反映

今回 12万9243人(前回比128%)
前回 10万923人

近藤まなぶ候補は7万7千213（得票率・16.99%）を獲得しました。投票率が前回より10ポイント下がるなか、前回選挙の党推薦候補と比べて、得票数で145%、得票率で7ポイント以上、伸ばすことができました。「ご支持いただいた県民のみなさん、ご奮闘いただいた「市民がつくる滋賀県政の会」のみなさん、支持者、後援会員、党員のみなさんに、心からお礼を申し上げます。

前回、自民党候補とたたかって当選した現職候補が今回、自民党の支援を受けて「相乗り」となり、自民・公明が前面に出て選挙を展開しました。自民党・安倍政権につきしたがう知事でないのが鋭く問われました。

安倍政権への怒りが渦巻くなか、保守層も含め市民のみなさんの熱い支援が寄せられ、「市民と野党の共闘」を発展させる新たな力をつけることができました。

国体問題、大戸川ダム問題、くらしの問題を大きな争点に押し上げ、県政の対決軸を鮮明にすることができました。

自民党に支援された知事のもとで日本共産党の役割は、ますます大きくなっていきます。安倍政権退陣のため奮闘するとともに、参院選と地方選挙での躍進をめざし党勢拡大に全力を尽くします。

みなさんのいっそうのご支援を、心からお願いたします。